健康経営 事業計画
～2026年度 認定取得に向けて～

社会福祉法人
天竜厚生会
Social Welfare Corporation
TENRYU-KOHSEIKAI

社会福祉法人
天竜厚生会

基本方針

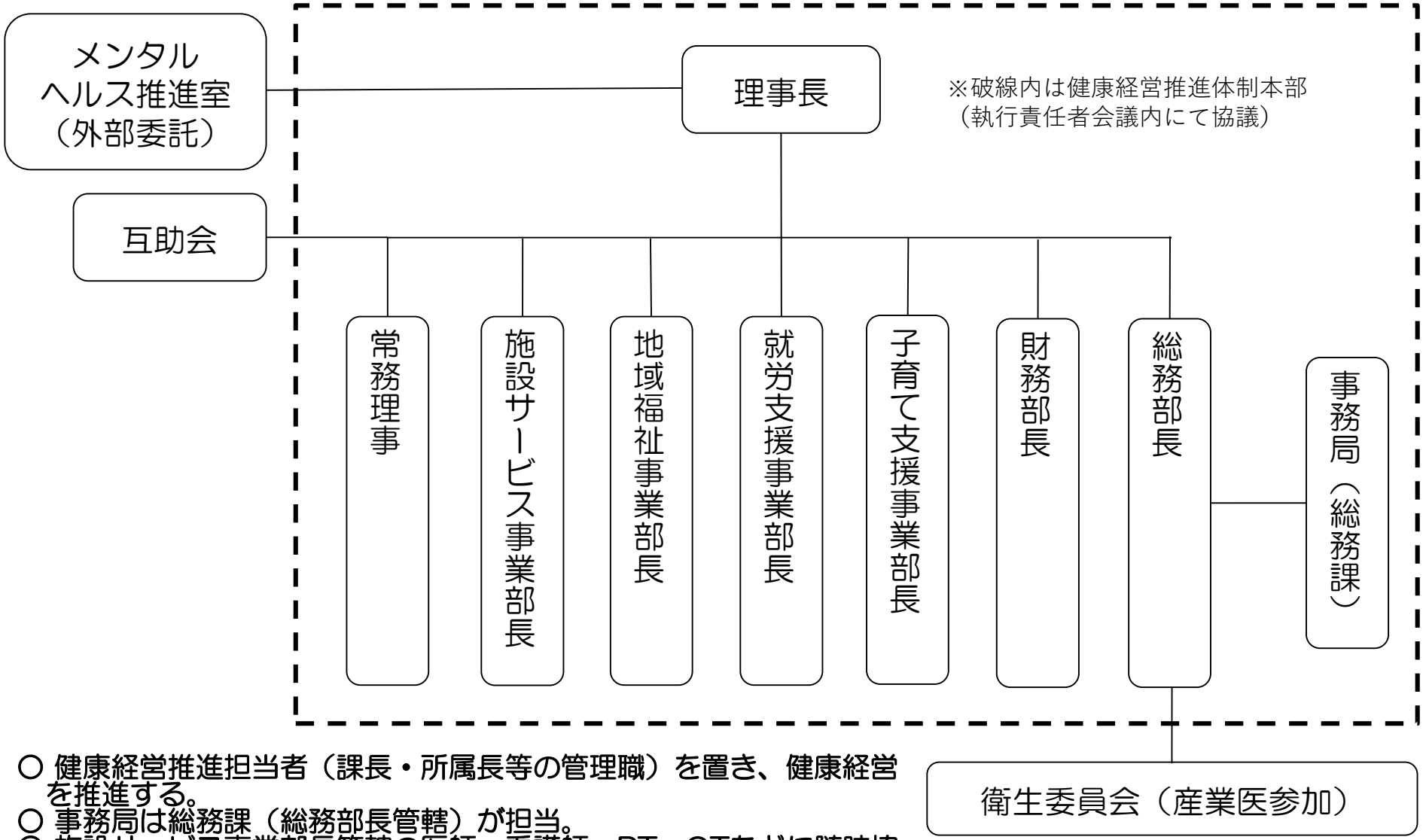
- 健康課題とその対策を検討、実施します
- ストレスチェック結果を利用した職場環境改善に取り組みます
- 職員の健康リテラシーの向上に努めます
- 組織的役割の再検証、業務内容の洗い出しによる最適な体制を構築します
- 感染症予防対策をさらに推進します

重点項目

- 基本方針のうち「健康課題とその対策を検討、実施」を最重点項目とします
- 中でも腰痛発生要因の削除に注力します
- 従来の対策を継続しつつ、環境発生要因を可能な限り削除するため、移乗機器等の導入を積極的に実施します

社会福祉法人
天竜厚生会

推進体制



○ 健康経営推進担当者（課長・所属長等の管理職）を置き、健康経営を推進する。
○ 事務局は総務課（総務部長管轄）が担当。
○ 施設サービス事業部長管轄の医師、看護師、PT、OTなどに随時協力を求める。

社会福祉法人
天竜厚生会

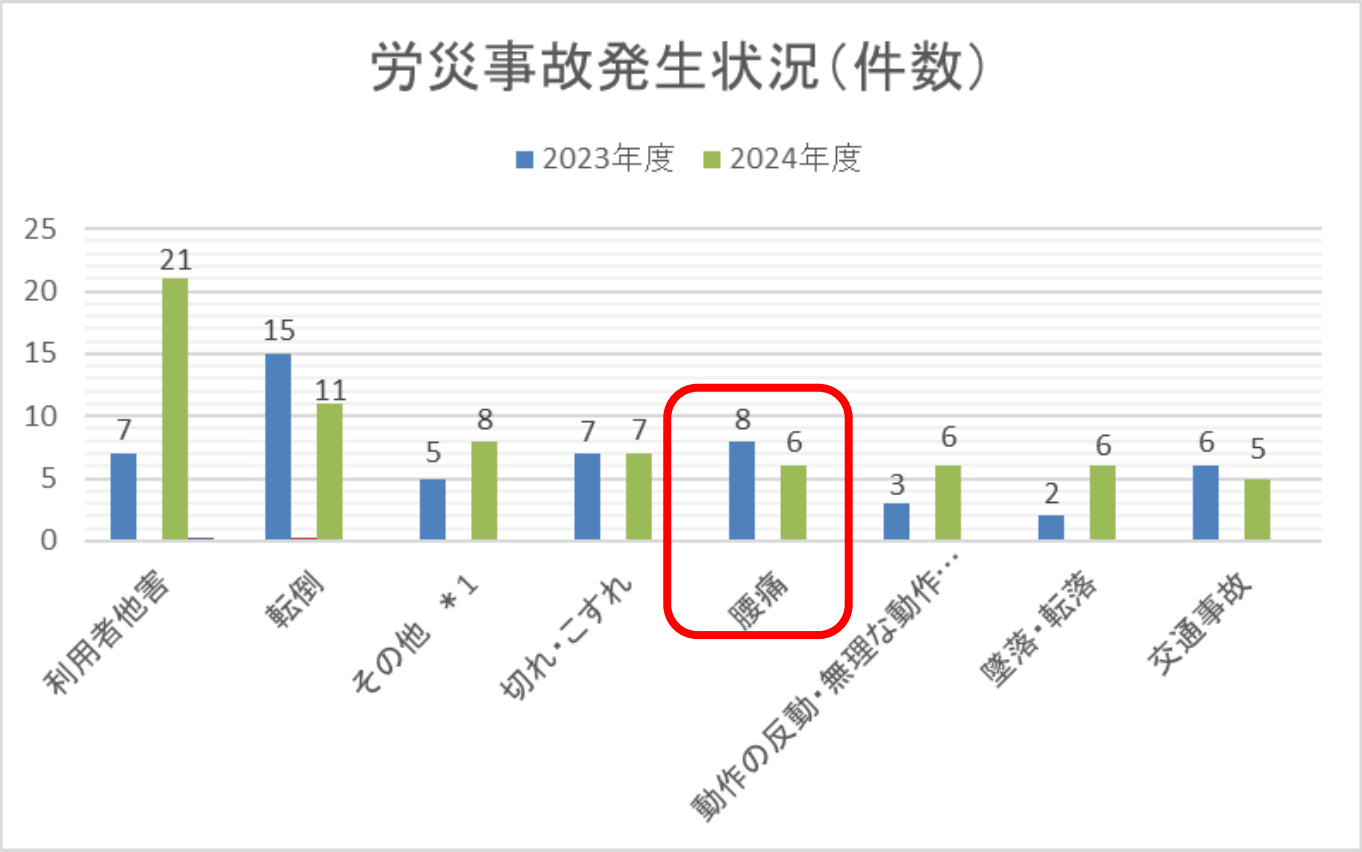
天竜厚生会の健康課題1　腰痛

課題1.「隠れ腰痛者」（職場が把握していないが、ご本人が腰痛を自覚している職員）は25.3%にのぼり、前年度と比べて0.8ポイント増加しています。
また、介護職員だけではなく、看護職員・保育教諭・調理員にも隠れ腰痛者がいます。

2024年度 前期職員健康診断における問診結果より

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康課題1　腰痛



＊1「その他」 8件内訳
・虫（蜂）刺され4件
・新型コロナ感染2件
・犬に噛まれる1件
・刺創1件

2024年度の全体件数は79件となり、前年度と比べ16件（前年比125%）増加しましたが、腰痛の発生件数はわずかに減少しています。腰痛による労災事故の半数は休業を伴い、平均休業日数は3.7日となっています。

社会福祉法人 天竜厚生会

天竜厚生会の健康課題1　腰痛

《今後の対策》
今年度の重点施策として注力

①腰痛の実態や施策を職員に周知（広報誌あかまつ、静岡県介護施設SAFE協議会・健康宣言通信資料の共有など）

②体を動かす機会の提供（フィットネスアプリ紹介、PTやOTとの連携による筋力アップ・腰痛予防体操の見直し）

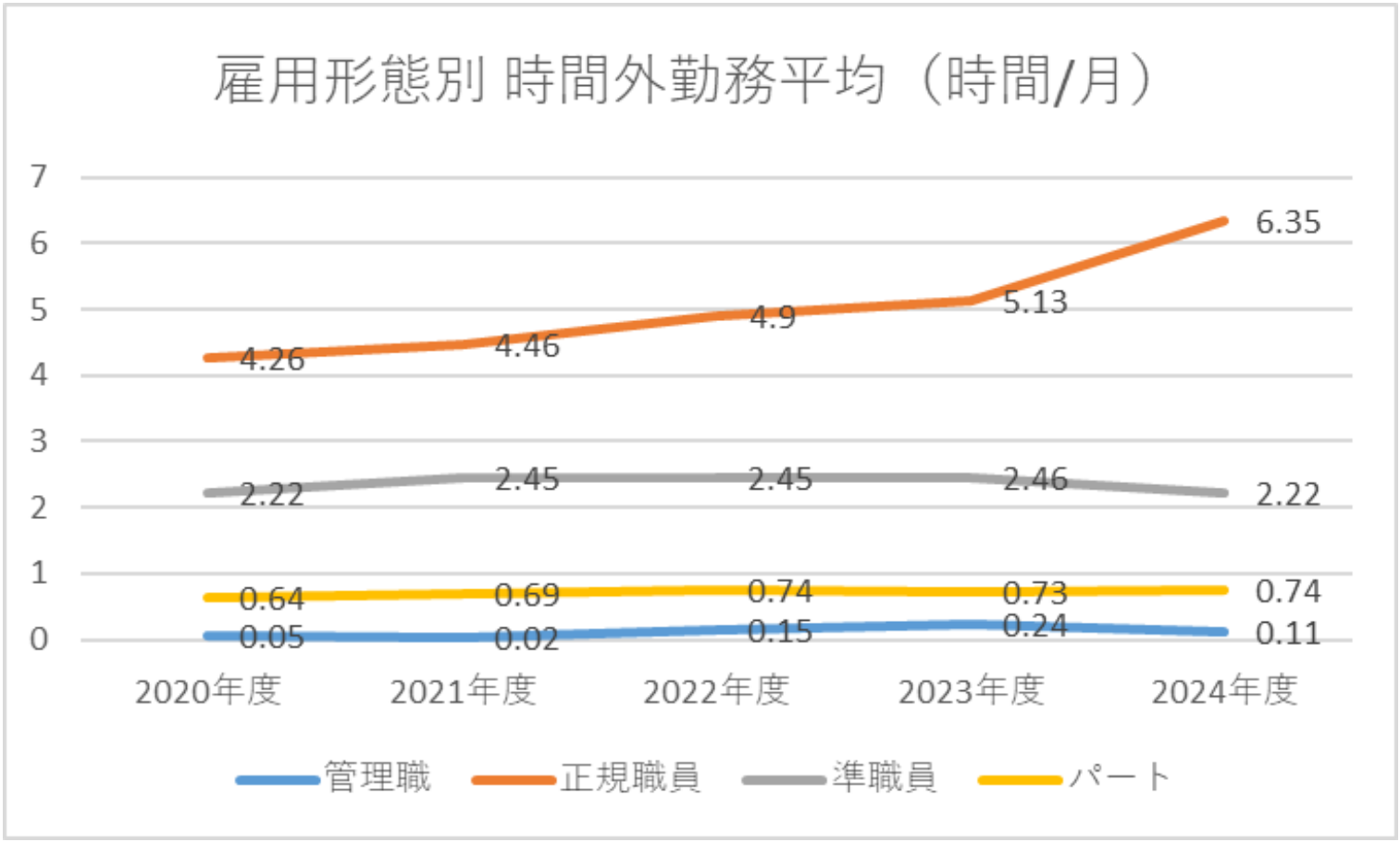
③腰痛予防ベルト商品の見直し

④生産性向上委員会との連携による機器導入・業務改善

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康課題2-①　時間外勤務

課題2-①. 正規職員の1人当たりの1ヶ月の時間外勤務の平均は、6.35時間であり、2020年度から年々増えています。



※参考数値
【2024年「毎月勤労統計調査」（厚労省）】
・全産業平均（パートタイム労働者含む）10.0時間/月、医療福祉5.0時間/月
・上記のうち一般労働者のみ13.5時間/月、医療福祉6.8時間/月

【2023年度「介護労働実態調査」】
・1.6時間/週

社会福祉法人 天竜厚生会

天竜厚生会の健康課題2-②　有給休暇取得率

2024年度職種別有給休暇取得率

職種名称	人数	取得率（%）
ケアワーカー（介護職）	932【▲10】	60.2【▲0.9】
保育教諭	425【＋7】	66.1【▲4.2】
調理員	130【＋2】	55.3【▲3.0】
ソーシャルワーカー（相談員）	130【▲3】	59.1【＋0.5】
看護師	115【▲5】	71.1【▲2.0】
アテンダント	125【＋19】	76.7【▲0.3】
事務員	85【＋3】	65.1【▲5.6】
保育士	71【＋2】	72.1【▲0.5】
管理職	65【▲2】	48.5【▲2.1】
准看護師	44【▲3】	69.9【▲3.6】
ケアマネジャー	44【＋7】	54.6【＋6.2】
ヘルパー	19【±0】	64.8【＋5.3】
管理栄養士	21【±0】	55.6【＋0.3】
全体	2,272【＋58】	62.7【▲1.3】

【　】は2023年度数値との増減比較

課題2-②．全体平均は62.7%です。
ケアマネジャーやヘルパーなど、部署内での職員数が少なく独り仕事になりやすい職種では取得率が上昇しましたが、全体平均では前年度より取得率は1.3%低下しました。

※参考数値
【2024年度「就労条件総合調査」（厚労省）】
・全業種　65.3%
・医療福祉　66.8%
（取得日数11.0日÷付与日数16.4）
・企業規模1,000人以上　67.0%

【2023年度「介護労働実態調査」】
・全体平均　53.7%

社会福祉法人 天竜厚生会

天竜厚生会の健康課題2　時間外勤務＋有給休暇取得率

《今後の対策》

①ノー残業デイ（法人第3金曜日＋各部署1日＝月2日）の実践状況の確認

②勤怠管理システムの活用による時間外勤務の把握（退勤時刻の把握、月末だけではない日々の時間数チェック等）

③管理職との面談実施（当該職員の健康状態の確認、業務分担の見直し等）

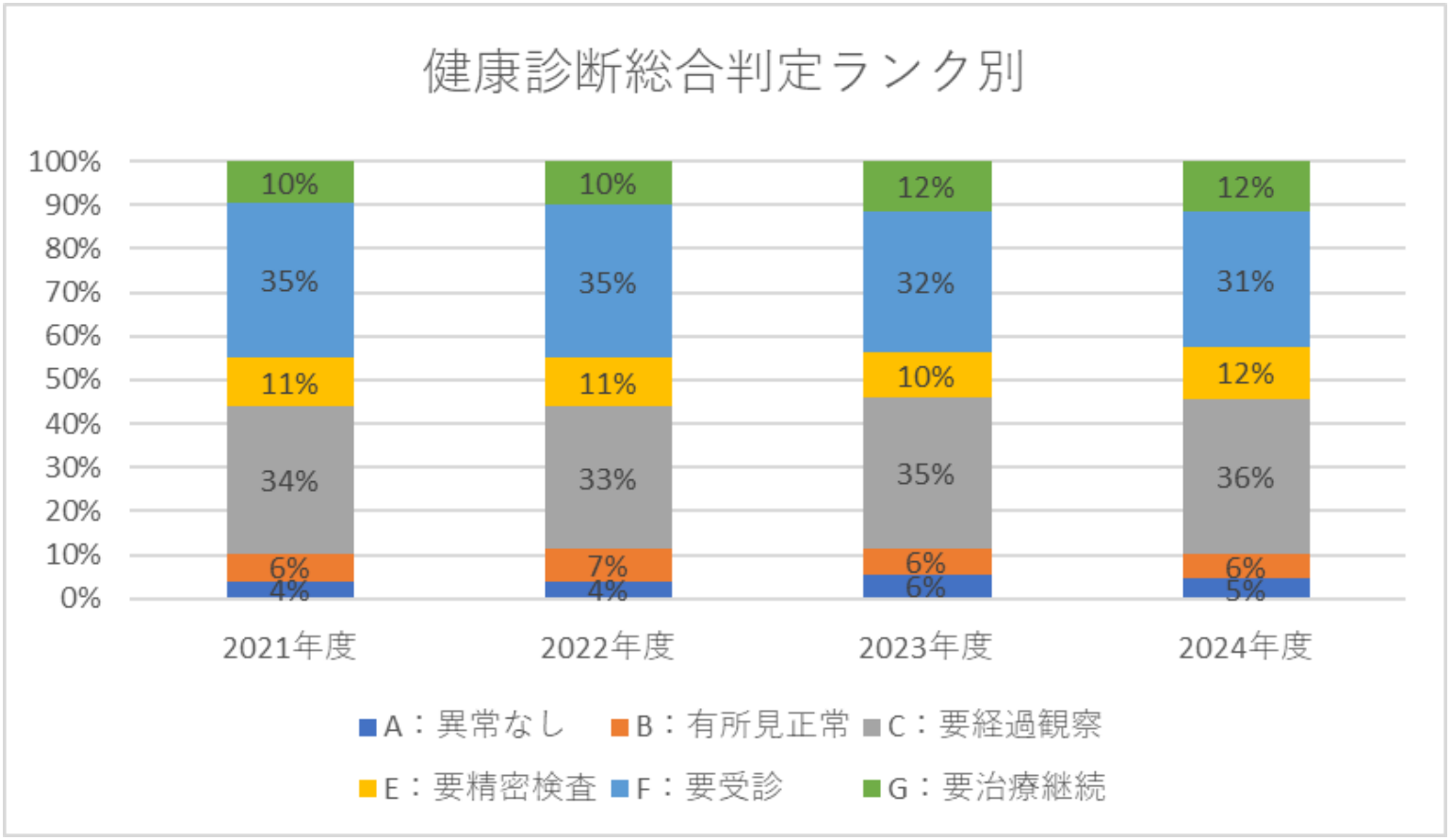
④労務管理をテーマとした管理職研修の実施

⑤有給休暇取得計画策定の徹底、有給休暇取得状況調査（12月・3月）による意識化

⑥上記を踏まえた法人としての対策展開（欠員状況の解消や適正な人員配置、選択的週休3日制【1日当たり所定労働時間10時間×週4日勤務】、勤務間インターバル制度の導入検討、生産性向上委員会との連携による業務改善等）

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　定期健康診断結果

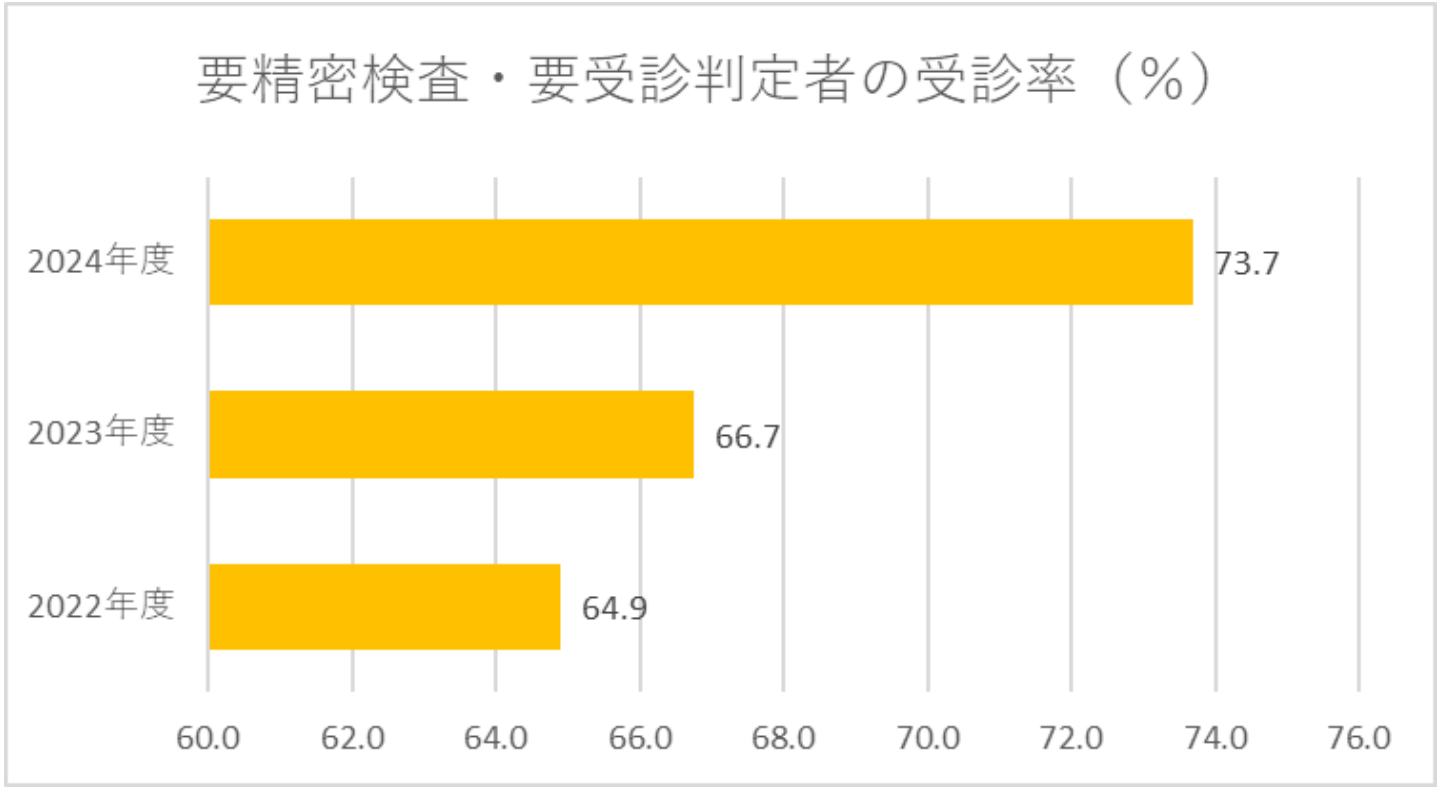


※参考数値
【2023年「定期健康診断実施結果」（厚労省）】
・有所見率58.9%
・保健衛生55.4%

健康診断総合判定において、有所見率は42.7%（E＋F判定）であり、大きな変化はありません。

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　要精密検査･要受診判定者の受診率



※天竜厚生会診療所における当法人職員の人間ドック受検者数
2023年度　133人
2024年度　154人
（全職員に占める割合は約6～7%）

管理職を中心に対象者へ受診を勧奨した結果、年々受診率が向上しています。2025年度までの目標である70%を達成しました。
最終目標の90%達成に向け、今後も引き続き施策を講じていきます。

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　ストレスチェック

2024年度ストレスチェック「総合健康リスク」より

職場名	人数	仕事の負担	職場のサポート	総合
全国平均	529,757	99 （±0）	95 （±0）	94 （±0）
業種平均	119,322	101 （−1）	92 （−1）	92 （−2）
当法人	2,152	100 （−1）	90 （＋1）	90 （＋1）

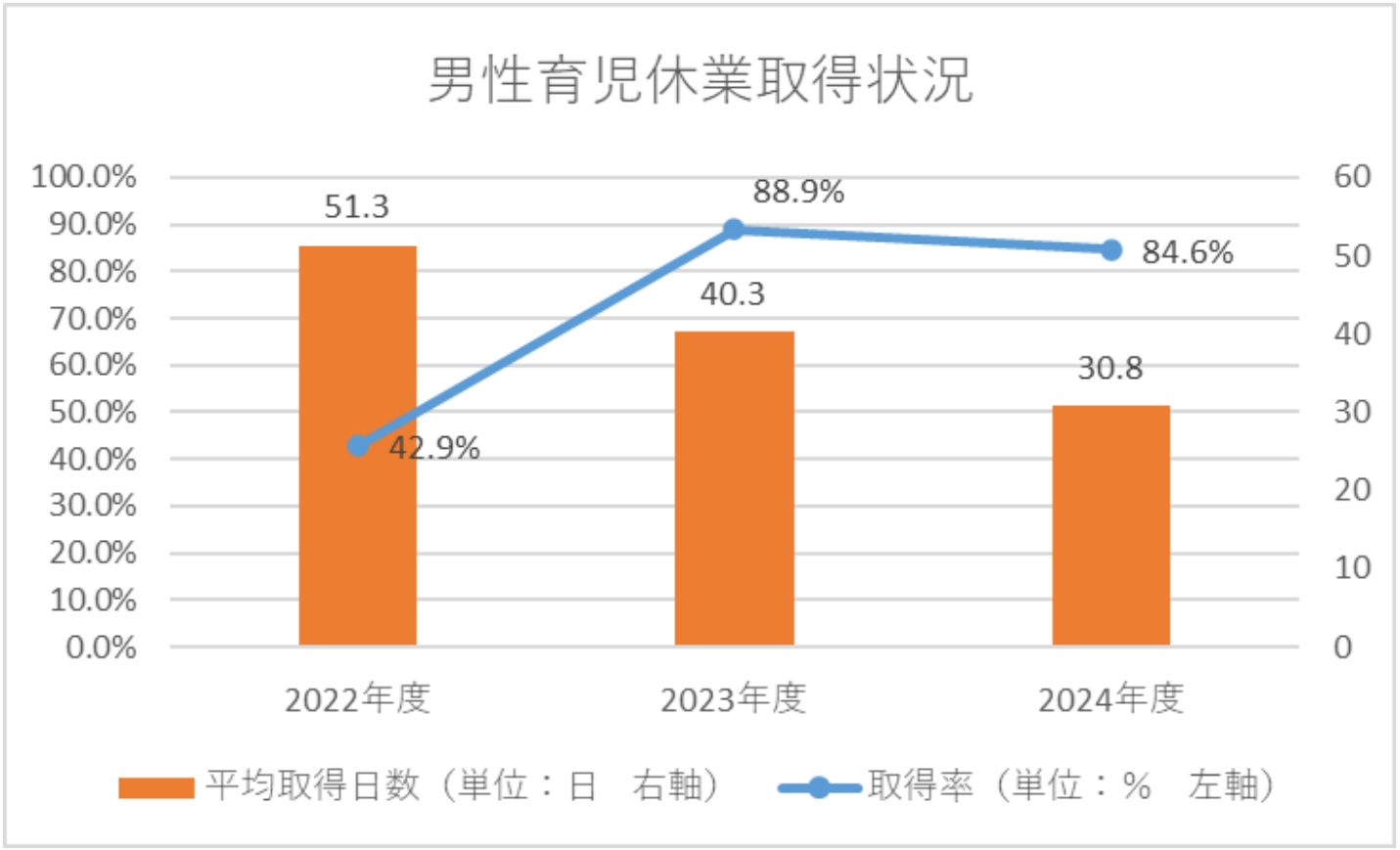
※回答率
2024年度
91.6%

※仕事の負担、職場のサポート、総合は、100を平均として値が小さいほど健康リスクが低く良い評価となります。（　）の数値は、2023年度との増減比較になります。

当法人では、「仕事の負担」は平均的である一方、「職場のサポート」は充実しており、総合評価は良好な結果となっています。
また、前年度との比較においても大きな変化はなく、引き続き平均的な評価を維持しています。

社会福祉法人
天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　男性育児休業取得率



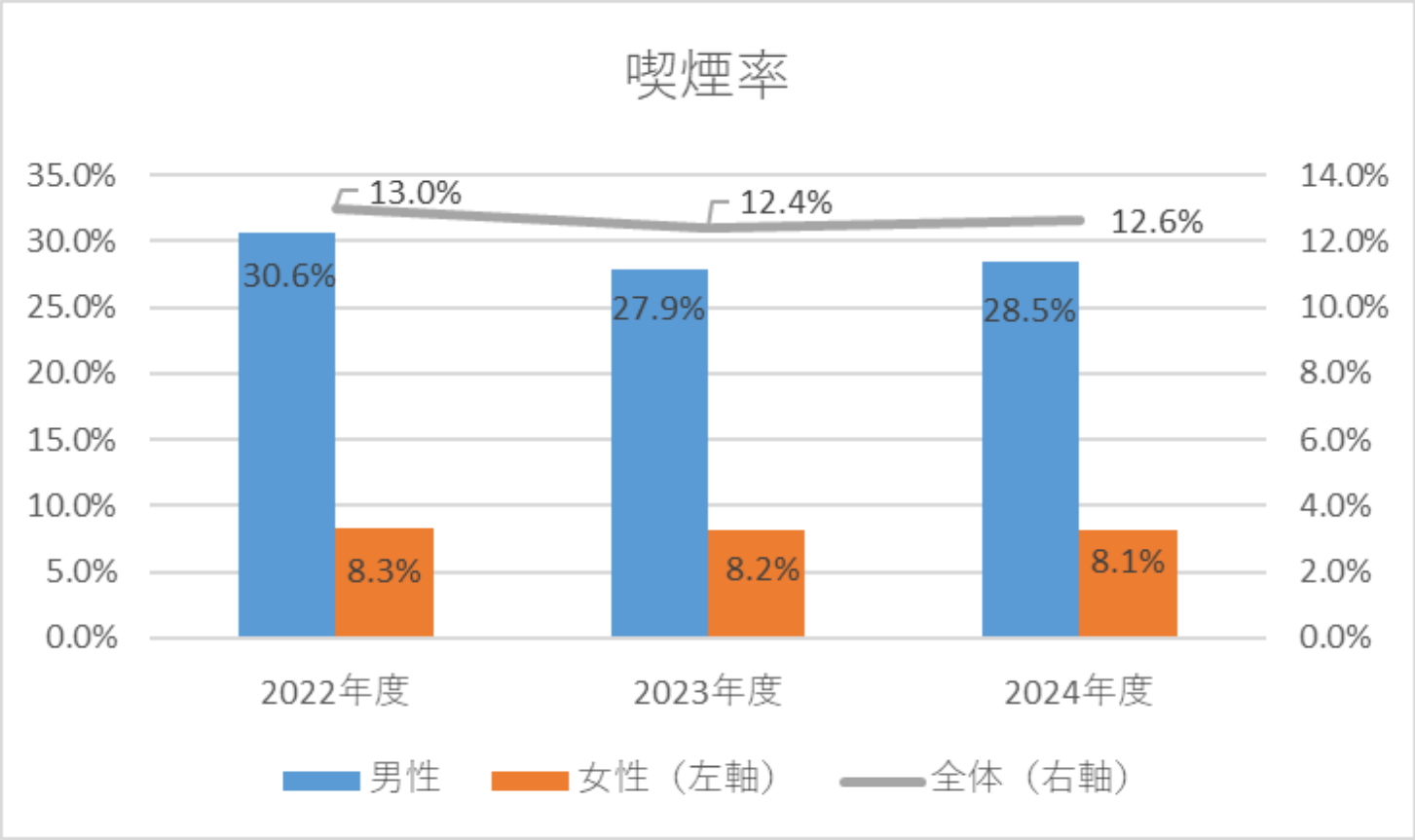
※参考数値
【2023年度「雇用均等基本調査」（厚労省）】
・男性育児休業取得率30.1%

【2023年度「男性の育児休業等取得率の公表状況調査」（厚労省）】
・男性育児休業取得率46.2%
・男性育児休業取得日数46.5日

社会的意識の変化に伴い、男性職員の育児休業への関心が高まり、休業を取得しやすい法人内制度の整備や部署内の協力体制により、前年度に引き続き高い取得率が維持されています。

社会福祉法人 天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　喫煙率

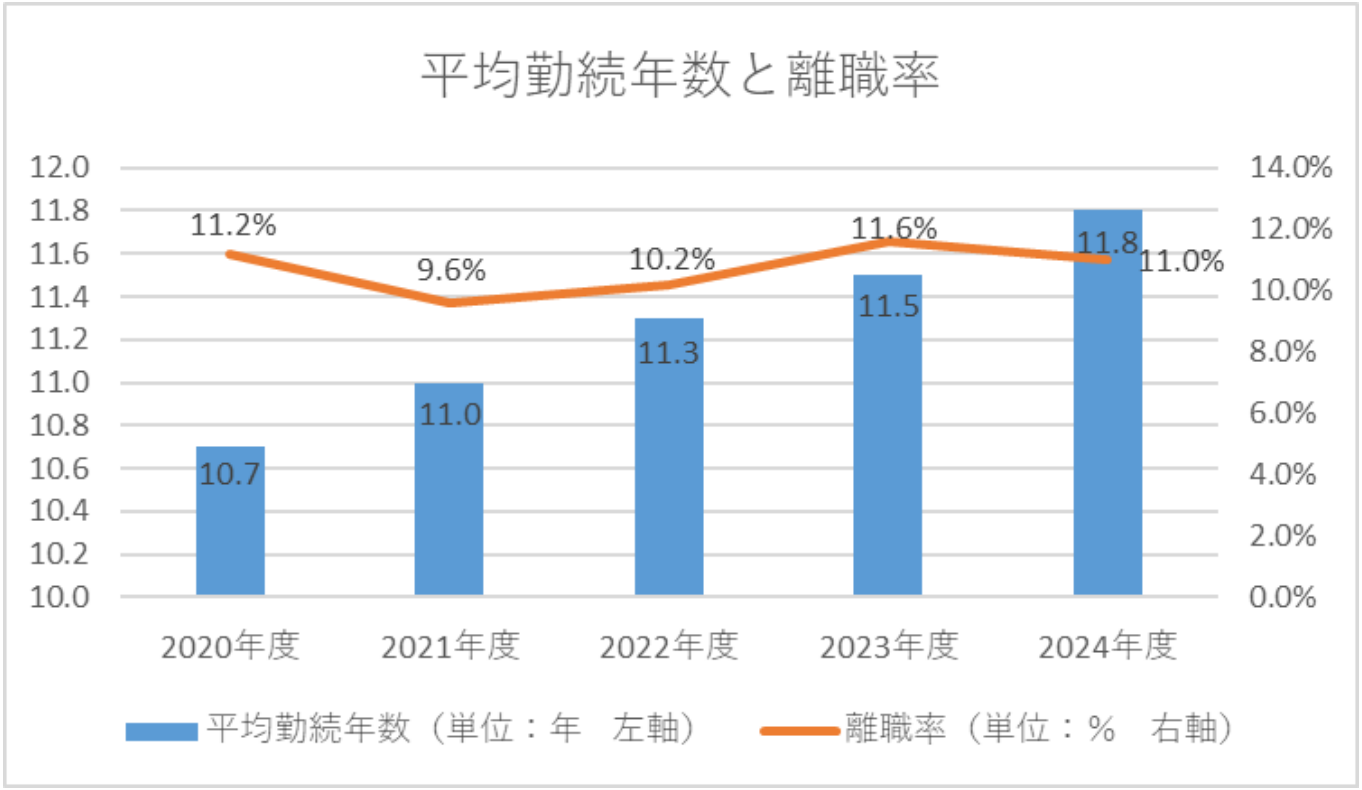


※参考数値
【2023年「国民生活基礎調査」（厚労省）】
・喫煙率　15.7%

喫煙率は前年度より微増しましたが、「以前は喫煙、ここ1ヶ月は喫煙していない者」の割合は9.1%→9.8%と0.7ポイント改善しています。

社会福祉法人 天竜厚生会

天竜厚生会の健康情報　平均勤続年数と離職率

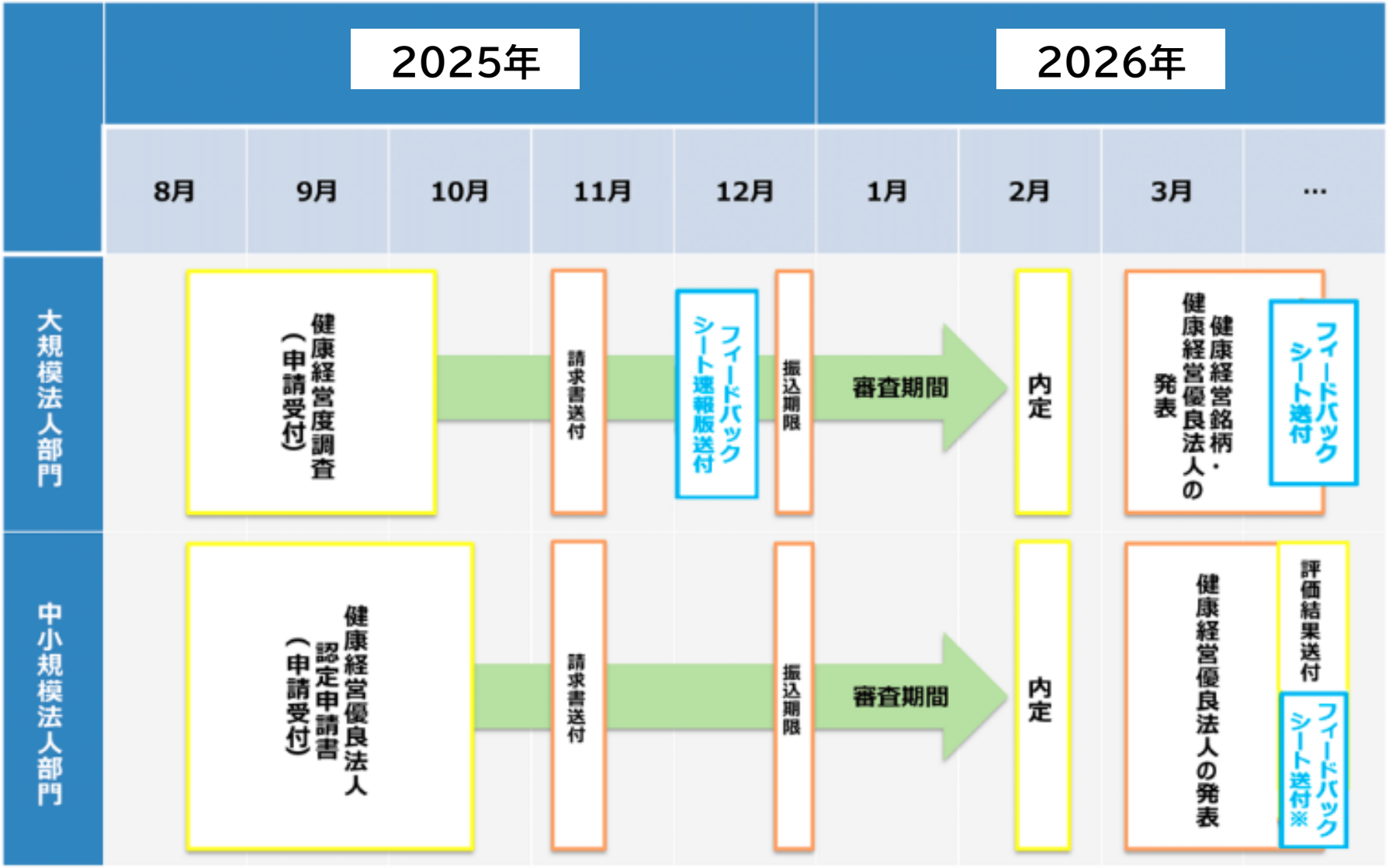


※参考数値
【2023年度「介護労働実態調査」】
離職率
・介護職員　13.1%
・訪問介護員　11.8%
※上記2職種　13.1%
・サービス提供責任者　7.1%
・生活相談員　8.1%
・看護職員　15.3%
・PT・OT・ST　9.4%
・ケアマネジャー10.0%
※上記5職種　11.4%

平均勤続年数は2018年度以降、伸びています。
離職率は2022年度から上昇傾向にありましたが、2024年度は下降に転じています。

※正規職員離職率　7.7%【前年度比較0.8%改善】
　契約職員離職率 14.4%【　　同　　0.4%改善】

社会福祉法人 天竜厚生会

2026年度 健康経営顕彰制度のスケジュール （予定）

大規模・中小規模共通